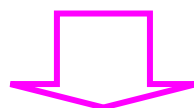


相馬病院看護部目標紹介

★★平成29年度看護部目標★★

1. かかりつけ病院として地域の皆様の期待に応える看護部 「認知症看護を深める」
2. 患者様 first(第一)のためのキーワード
 - 1) safety (安全)
 - 2) careful (丁寧・慎重)
 - 3) priority (優先順位)
 - 4) responsibility (責任)
3. 部署目標・個人目標を実現させ、患者様・ご家族・職員が満足できる病院



今年度の目標は、「1」と「3」は継続した目標になっていますが、「1」には、『認知症看護を深める』というサブ目標を掲げました。

認知症については、社会問題にもなっています。

昨年度「病院認知症対応向上研修」を私立病院協会から専門家3名による訪問研修を、二日に渡り受講しました。また別に認知症の研修を受講した職員が数名います。

認知症について、出来ていること・これからの課題が明確になり、かかりつけ病院として認知症看護を深める必要があると考えました。

「2」については、「first」という言葉は、世の中で少し前によく使われていました。4つのキーワードを設けることで、更に患者様サービスの向上の質を上げていきたいと掲げました。それぞれの言葉は、いつでも・どこでも・どのような場面でも重要なキーワードだと思います。常に心に留めておきたい言葉だと考えています。

★☆☆平成 29 年度外来・手術室・訪問診療目標☆☆★

『外来・手術室・訪問診療のチームの体制確立と看護の質の向上』

昨年度に引き続き今年度も外来・手術室・訪問診療のチーム力の強化と看護の質の向上を目標に専門性を生かした 目標を設定しました。

外来は、昨年度からの継続で『外来から始まる退院支援・外来でできる在宅支援』を継続し、個別性のある看護の提供を継続したいと思います。脊椎手術後の患者様が自宅生活を安心して暮らしていただける生活指導も実践継続し、不安にならない日常生活支援を提供させていただきたいと考えております。それ以外にも関節外来や骨粗鬆症外来、脳外科の外来増設等外来診察は充実しています。今年度の取り組みでようやく外来案内係が患者様やご家族様がお困りにないよう常に外来で常駐し、ご案内係としていち早く対応させていただき試みを計画しております。

手術室は、『安全第 1』に環境の見直しや日々の振り返りを積み重ね患者様・ご家族様が安心して不安なく手術が受けられる環境を追究しています。日々、安全確認作業の徹底を怠ることのない姿勢、安全意識を持ち続けることを継続し、患者様・職員の安全に繋がります。また、手術を受けられる患者様や家族様が安心・信頼して手術を受けられる看護の提供を目標に指導・教育を強化継続していきます。

訪問診療は、年々利用していただく患者様が増えています。更なる改善をして一人でも多くの訪問患者様の受け入れできる体制を考えています。専任の主任を配置し訪問診療の体制も強化され、情報共有、情報交換、いつでもどんな時でも訪問診療が必要な患者様・ご家族様の期待に十分に答えられ、満足していただける訪問診療を目指しています。

今年度も外来・手術室・訪問診療の情報共有と連携で、チーム・ワークの強化を図り、各チームの特徴・専門性をとらえた看護についてチームで考える機会を多く持ちたいと考えています。継続して人材育成・後継者育成を視野に入れた体制で、今年も患者様の視線で良質な看護の提供をさせていただきます。

★☆☆病棟部署目標☆☆★

『つなぐ、つながろう、つなげよう看護』

『良質な看護の提供・患者様の療養・生活の場

としての環境整備を行う』

今年度は昨年からの目標内容を大きく変更せず、継続して目標達成を考えています。入院時から在宅支援の必要性を意識して、入院中の療養だけでなく退院後の生活も想定し

て看護の提供が出来ることを目標として取り組んでいます。患者様・ご家族と一緒に早期に方向性を見出せるように、担当看護師を中心に病棟全体でお話をさせていただいています。外来通院・入院・在宅への連携を、途切れることなく患者様それぞれに必要な看護の提供を目指します。

入院という環境の変化は時に患者様の心身に影響を与えることがあります。そのためせん妄や認知症といった専門知識を深め、患者様のご理解に努めながら、患者様にとって療養・生活の場となる病床（ベッドサイド）の安全・安心な環境調整を行いたいと思います。また患者様に提供する看護の中でも薬剤管理に関しては、病棟の大きな目標としてしっかりチェック機構を働かせ「インシデントゼロ」を掲げていきます。

昨年度から脊椎手術を受ける患者様には術前に体験型オリエンテーションの実施を行っており、安全に手術を受けていただけるよう継続して取り組んでいます。手術後、回復される喜びを患者様ご本人だけでなく、関わるご家族や他職種ともその喜びを共有出来ています。それらを声に出して情報共有し、看護師としてのやりがいへも繋げたく今年度の課題と上げています。患者様に関わる場面において、患者様の変化をしっかり把握し、得た情報を的確に記録という形に残したいと考えます。

私達看護師は患者様・関係する医療従事者・様々な方々と昨日・今日・明日へと繋がっています。患者様第一に考え、そのつながる線が確かなものになるよう、病棟一丸となって取り組みたいと思います。

★☆☆透析室目標☆☆★

『選ばれる透析室』

治療中の患者様にとって、快適な治療空間が提供される事、安心して治療が受けられる事が何より大事だと考えます。

週3回同じ治療を一生繰り返すという透析治療は、入院生活とはまた違うものが求められます。患者様ひとりひとりに気配り、目配り、心配り、が行き届いた透析室が選ばれる透析室だと考え、目標としました。

具体的には、

1. 安心・安全な透析治療の提供
2. 透析療法の質向上
3. ワークライフバランスの充実 を掲げました。

勉強会の実施、防災教育、ヒアリ・ハット掲げ後にミーティングの実施

透析室内の環境整備（患者様の安全と、働きやすい職場環境）の為、定期的なミーティング開催など計画しています。

今年度は、患者様・スタッフに『選ばれる透析室』となるようモチベーションMAXでやっていきたいと考えています。

☆☆訪問看護ステーションそうまの目標☆☆

『地域の一員として活躍できるステーション作り』

～利用者・家族を地域で支える看護力の強化～

訪問看護ステーションは、今年度も大きく変えていませんが、昨年に引き続いた目標に一部付け足しています。

今年は、看護の質の維持・向上はもちろんのこと、それを継続できるようにするためには、やはりスタッフが生き生きと働ける職場作りをすることが大切だと思い、ワークライフバランスを重視した項目を付け足しました。“堅実な仕事ぶり、充実した私生活”をキーワードに頑張っていきます。

今年もこの言葉で締めくくります。

地域のみなさまと一緒に自宅で過ごす喜びを感じながら療養できる場所を提供できるよう、そして、これからも、地域のみなさまに『安心と安全』をお届けできるよう、スタッフ一同役割を果たせるよう努力していきます。